

## ★三郡山保健所管内の公立学校での受動喫煙防止の取り組みについて調べました!!

### 【管内公立学校の取り組みに関するアンケート結果】H24. 6月実施

対象: 管内8市町村の幼稚園34件、小学校43件、中学校23件 (回収率100%)

#### 《禁煙実施状況》

	敷地内禁煙	施設内禁煙
幼稚園	34件 (100%) 【H21 :100%】	0件 (0%)
小学校	43件 (100%) 【H21 :100%】	0件 (0%)
中学校	22件 (95.7%) 【H21 :100%】	1件 (4.3%)

#### 《市町村教育委員会の方針》

	敷地内禁煙を徹底	
学校における禁煙実施の方針	大和郡山市、生駒市、天理市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、山添村	
	教育実施を勧奨	各校の判断任せ
学校における喫煙防止教育の実施方針	大和郡山市、平群町、斑鳩町、安堵町	生駒市、天理市、三郷町、山添村



### 受動喫煙とは...知ってますか?!

人が吸っているタバコの先からだされる煙(副流煙)、吸っている人が吐き出す煙(呼出煙)を周囲の人が吸わされること。火を付けたまま放置されたタバコの煙(副流煙)は、特に有害物質が多い。たばこを吸った後に服や髪、部屋の壁やカーテンに付着した有害物質、屋内の空気清浄機によるフィルターで煙粒子を除いた「煙」として見えない有害成分に暴露されて吸わされる状態も含む。いずれも、人の健康に悪影響を及ぼす。



各園・各校・教育委員会からあげられた課題で多かったのは「学校関係者の受動喫煙に対する意識の徹底」、「施設解放時に地域住民、各種団体等への禁煙徹底」「家庭内での喫煙・受動喫煙の実態」です。

そんな状況のなか、学校敷地内禁煙のために「敷地内禁煙の表示を行事に応じて増やす」「職員やPTAが協力の呼びかけをする」「施設開放の運営会議、スケジュール会議、各行事の案内度に「敷地内禁煙実施」を伝える」と工夫しながら周知・実施の徹底を図られているところがありました。

また、より効果的な教育・啓発普及のために「児童・保護者アンケートから実態把握し課題に基づく教育を実施」「学校保健委員会を活用した講習会や協議検討の実施」「PTA役員の広報活動を通して保護者への啓発普及」等、先生方の熱意ある取り組み状況が伺い知ることができました。

こうした取り組みの積み重ねが子ども達を「たばこの吸わない大人」に育てるはず!! (´\_`)v ... (´o`) ... (´^)/^ ^ ^

#### 《喫煙防止教育実施状況》

	実施・実施予定	無し	講師は...誰?!	内容など
小学校	37件 (86.0%) 【H19 :88.1%】	6件 (14.0%)	担任教諭、養護教諭が多い。 その他では外部講師(医師、薬剤師、保健センター)の回答あり。	・喫煙と健康 ・喫煙、受動喫煙の害 ・薬物乱用・アルコール・生活習慣病と喫煙の関連 ・保健学習の一環 ・対象は6学年での実施が多い。全年対象に学校ぐるみの実施もあり。
中学校	16件 (69.6%) 【H19 :91.3%】	7件 (30.4%)	保健体育教諭、養護教諭、担任教諭が多い。 その他では外部講師(薬剤師)の回答あり。	・喫煙と健康被害 ・講演会(実習あり) ・たばこを誘われた時の対応 ・保健体育学習の一環 ・教科書、DVDを教材に使用 ・対象は3学年での実施が多い。全年対象に学校ぐるみの実施もあり

### 受動喫煙が引き起こす病気って...知ってる?!

(米国厚生長官報告、2006年)



病気・障害	エビデンスの強さ	受動喫煙時期・発生源等
乳幼児突然死症候群	確実	出生前・出生後
早産	可能性大	母体の受動喫煙
低体重出生	確実	母体の受動喫煙
小児ガン	可能性大	出生前・出生後
小児白血病	可能性大	出生前・出生後
小児悪性リンパ腫	可能性大	出生前・出生後
小児脳腫瘍	可能性大	出生前・出生後
気管支炎・肺炎	確実	母親喫煙の影響大
中耳炎(急性・再発性・滲出性)	確実	親の喫煙
学童の咳・痰・喘鳴・呼吸困難	確実	親の喫煙
学童の気管支喘息	確実	親の喫煙
幼児期の喘息様気管支炎	確実	親の喫煙
小児期の肺機能低下	確実	妊娠中母親喫煙
小児期の肺機能低下	確実	出生後の受動喫煙

【お知らせ】  
9/4(火)中島孝之先生(大和郡山市開業をお迎えし、学童期における対策をテーマとした「たばこ対策推進研修会」を開催しました。中島先生の資料をご希望の方は郡山保健所母子・健康推進係までご連絡下さい。

管内は早くから未成年者の喫煙防止・受動喫煙防止の取り組みが進められてきた経緯もあって、H21には幼稚園・小学校・中学校での「敷地内禁煙実施100%」を達成しました。H24結果では「施設内禁煙」の中学校1校除いて、他すべては「敷地内禁煙」を継続されていることがわかりました。喫煙防止教育の実施状況は、H19アンケート結果に比べてH24結果では実施率が低い結果となりました。いま一度、喫煙の害、受動喫煙の害を考え、関係機関で連携を図りながら「こどもの喫煙ゼロ」の達成と「無煙環境づくり」を目指し取り組んでいきましょう! (^\_^)